

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 11月 30日

事業所名 みずきキッズクラブ 放課後等デイサービス事業所

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	○			基準以上のスペースを確保しています。支援の状況によって 環境を整備しながら実施しています。
	2	職員の配置数は適切である	○			基準以上の配置をしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	○			スロープや段差をなくす等、施設内外でパリアフリーになるよ うにしています。安全性に配慮し、障がい特性に応じ環境調 整をしながらサービスを提供します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	○			月1回の全体カンファレンスを実施し、それ以外にも必要時 には会議を設けています。目標の設定、振り返りを行い改善 に繋げるよう心がけていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている			○	令和4年12月新規開設の為、この度が初めての評価となり ます。毎年アンケート調査を定期的実施するとともに、職員 が意見を尊重し、改善と資質の向上に努めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している			○	令和4年12月に新規開設の為、今後は定期的にHPで公開し ていきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている			○	現在第三者評価は受けていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	○			外部、内部研修に参加させて頂き、資質の向上に努めてい きます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	○			利用者様、保護者様とのアセスメントを実施し、希望や課題 を聞き取り計画書に反映し作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するた めに、標準化されたアセスメントツールを使用 している	○			vineland-ii適応行動尺度ではなく、その他のツールを用いて います。
	11	活動プログラムの立案をチームで行って いる	○			子ども達が楽しく、様々な体験、経験ができればプログラ ムの立案を実施しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫 している	○			個の状況と課題を意識しながら、個別・集団活動を行って います。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をき め細やかに設定して支援している	○			休日や長期休暇時にしかできない活動等を取り入れながら、 個別・集団活動を実施しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団 活動を適宜組み合わせ放課後等デイサー ビス計画を作成している	○			子ども達の状況に合わせ集団及び個別の課題を盛り込み作 成させて頂いています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	○			ミーティングを毎朝実施し、全体での共有・周囲しておきたい 事を確認しています。

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	終了後全員での振り返りは難しい為、支援前にミーティングを実施し、全体で共有・周知しておきたい事を確認しています。他、必要時に随時話し合いを持ちながら取り組んでいます。		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		○	日々のサービス提供記録及び業務日誌を作成し、振り返り、支援の改善等に繋がれるようにしています。		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している		○	定期的なモニタリングと随時見直しを行い、目標の達成度を評価して見直しを図るようにしています。		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている		○	ガイドラインの基本活動を意識し、楽しみながら日常生活動作やルール、個別や集団活動などを学べるように活動を実施しています。		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○	児童発達支援管理責任者及び必要時には担当者も参加し、連携した支援ができるようにしています。		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○	学校より予定表等を頂き把握し、変更時には学校及びご家族様より連絡を頂き対応できるようにしています。		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/	/	医療的ケアを必要とする方の受入は現在行っていません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	利用開始前や開始してから保護者様の同意を得て情報を共有させて頂いた方もいます。また直接的な聞き取りではなく相談支援事業所を介してお願いした方もいます。		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○	令和4年12月に新規開設の為該当するケースはありません。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			○	今後、派遣事業等で専門機関の方の研修等を検討していきたいと考えています。他、外部等の研修については積極的に参加させて頂いています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	一般の地域交流等は社会資源活用時にありますが、交流については今後の課題と考えています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			○	会議や情報交換する機会が設定されている為、都度必ず参加するよう努めています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている			○	連絡帳で写真を添えて日々のサービス提供記録を発信しています。また職員からのコメントを添え状況をお伝えし、送迎時に口頭でも情報共有させて頂いています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○	現段階ではトレーニングとしては実施していません。モニタリング時等に相談があれば助言等させて頂いています。	
	保	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている			○	契約時に説明し、それ以外に質問や相談があった場合には都度説明させて頂いています。
		31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている			○	モニタリングやその他相談された際に助言等させて頂いています。
		32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	現段階では実施していません。今後、保護者様同士の交流の場を設ける事ができればと考えています。

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情相談窓口について契約時に説明させて頂いています。また苦情については各関係機関に報告を行っていきます。
	34	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	定期的な会報等は現在実施していません。日々の活動記録として連絡帳でお伝えさせて頂いています。今後については検討させて頂きたいと思います。
	35	個人情報に十分注意している	○		施錠できるキャビネットを使用し、常時数名の職員が在中しており、持ち出しできないよう保管されています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚支援等を用いて支援を実施しています。また連絡帳では、活動写真も数枚入れ、写真を見るだけでお子様の様子等が分かりやすく伝わるよう心がけています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	開設1年目との事もあり地域住民の方を招待する行事等は実施していません。相談支援事業所の方々を招待し実施した経緯はあります。今後、検討していきたいと思います。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	マニュアルは作成し事業所内では周知していますが、保護者様への周知はしていない為今後検討していきたいと思います。契約時に対応等については簡単に説明させて頂いています。また訓練について現段階では未実施です。今後実施していきたいと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練を年2回実施し、消防署の方より助言を頂きます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部・内部研修を実施しております。また随時意識するよう朝のミーティング時に声掛けを実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	身体拘束を行う利用者様は現段階まで該当する方はいませんでした。必要時には計画書に落とし込み、保護者様への説明、了承を得る必要があるかと思えます。また実施した際には記録として残しておきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	事前アセスメントについて必ず保護者様より確認するようにしています。食べ物だけでなく配慮すべきアレルギーに関して把握し支援していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	事例集としては作成していません。これまでのヒヤリハットについて事例集として作成し共有していきたいと思います。